

2021年度 第1回6月京大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1)           部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

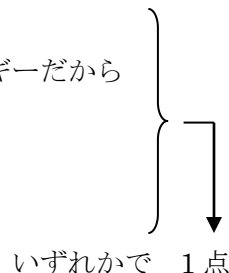
**I**

問(3)② 1 点

化石燃料への依存を減らし、発電エネルギーの自給および多様化と地球温暖化の防止を図る。

**【加点ポイント】**

- ・化石燃料（石炭・石油）への依存を減らす
- ・再生可能エネルギーの使用率を上げる／風力は再生可能エネルギーだから
- ・発電エネルギーの自給率を上げる
- ・発電エネルギーを多様化する
- ・地球温暖化を防止する／二酸化炭素の排出を抑える



問(4) 4 点

集落は、防風や防砂の役割を担う針葉樹が植林されている浜堤の内陸側に立地している。

**【加点ポイント】**

- ① (集落の立地) 浜堤の内陸側 →2 点 (※「浜堤上」→1 点)
- ② (立地の理由) 防風／防砂 →1 点
- ③ (②の植生) 針葉樹が植えられている →1 点

問(5) 4 点

河川の土砂運搬量が減少し海岸侵食が進んだため、離岸堤を設置して侵食を防いでいる。

**【加点ポイント】**

- ① (海岸線の変化) 海岸侵食が進んだ／海岸線が後退した →2 点
- ② (①の原因) 河川の土砂運搬量が減少した  
／上流にダムができて土砂が供給されなくなった →1 点
- ③ (方策) 離岸堤／水制／消波ブロック／波消しブロック／テトラポッド の設置 →1 点

問(6) 2点

地震による津波の際、住民が避難するため。

【加点ポイント】

- ① (施設の目的) 避難する／高い場所に逃げる →1点
- ② (利用時) 津波 →1点 (※「地震」のみでは加点しない)

問(7) 2点

家屋の並び方や道路が不規則で、寺社が多く存在するので、成立時期は古い。

【加点ポイント】

- ① (成立時期) 古い →1点
- ② (根拠) ★①の正解を加点の前提とする
  - ・掛塚集落は家屋や道路が不規則／遠州浜集落は住宅や道路が規則的 } 2つ揃って
  - ・掛塚集落には寺社が見られる } 1点

問(8) 3点

自然堤防に立地しており、微高地で洪水の被害を受けにくいから。

【加点ポイント】

- ① (集落の地形名) 自然堤防／自然堤防上 →1点
- ② (立地の理由) 洪水を避ける／水害に遭いにくい／川の氾濫時に被害が少ない →2点

Ⅱ

問(1)① 2点

流入河川から綿花畑に大量の灌漑用水を導いたため。

【加点ポイント】

- ① 流入河川から取水した／アムダリア川・シルダリア川から取水した  
／流入河川からカラクーム運河に導水した →1点
- ② (①の目的) 綿花畑の灌漑／綿花の栽培 →1点

問(1)② 5点

漁業と水運業が崩壊したほか、旧湖底からの塩類の飛散で周辺住民に健康被害が生じた。

【加点ポイント】

- ① (経済への影響) 漁業の衰退／水運業の衰退 →2点
- ② (周囲の地域への被害) ・塩害／塩類土化
  - ・塩類飛散による健康被害
  - ／農薬や化学肥料由来の有毒物質飛散による健康被害
  - ・生態系の破壊 } 1つ2点 3点まで

問(2)③ 3点

石油、ウラン、レアメタル等の鉱産資源の開発が進んでいるため。

【加点ポイント】

- ① 資源開発が進んでいる／資源が豊富 →2点
- ② (①の具体例として) 石油／原油／ウラン／レアメタル／クロム／ガリウム →1点

問(4)① 5点

オアシスに立地し、シルクロードと呼ばれる東西交易路をつなぐ要衝となって発展した。

【加点ポイント】

- ① (立地場所) オアシス →2点
- ② (発展の経緯) 交易路の要衝／交通都市／交易都市／中継都市／商業都市 →1点
- ③ (②の交通路) シルクロード →2点

問(4)② 1点 イスラーム／イスラム教

#### Ⅳ

問(2) 3点

永久凍土中のメタンなどの温室効果ガスが大気中に放出されて、地球温暖化が進むこと。

【加点ポイント】

- ① (環境問題として) 地球温暖化の促進 →1点
- ② (土の名称) 永久凍土 →1点 (※「凍土」では加点しない)
- ③ (②が溶けると) メタンが放出される／温室効果ガスが放出される →1点

問(3)② 3点

レグールは黒色の肥沃な間帯土壌で、綿花栽培に適する。

【加点ポイント】

- ① (土の名称) レグール／レグール土 →1点
- ② (①の特性) 間帯土壌／母岩(玄武岩)の影響を強く受けた →1点
- ③ (土の色と栽培作物名) 「黒／黒色」で「綿花」が栽培される →1点

問(3)③ 3点

ガンジス川流域には河川の運搬・堆積作用で沖積土壌が広がる。

【加点ポイント】

- ① (土壌名) 沖積土／沖積土壌 →1点
- ② (成因) 河川により運搬・堆積された／河川が土砂を運んだ  
／ヒマラヤ山脈の土砂が堆積した →1点
- ③ (②の河川名) ガンジス川 →1点

問(4)③ 3点

風によって氷河末端の堆積物が運ばれてできたレスが広がる。

【加点ポイント】

- ① (土壌の名称) レス/黄土 →1点
- ② (①の成因) 風によって運ばれてきた/風積土である →1点
- ③ (①の由来) 氷河の堆積物/氷河により削られた土壌/モレーン →1点

Ⅳ

問(1)② 3点

第一次産業が盛んな北海道のような原料産地のほか、市場への輸送に有利な埼玉県・愛知県・兵庫県などの三大都市圏やその近郊に立地しやすい。

【加点ポイント】★「問(1)①：ア」の正解を加点の前提とする

※合計で3点まで

- ① (都道府県名と立地の特徴)

「北海道/静岡県」で

「原料産地/第一次産業が盛ん/農産物(海産物)がよく穫(獲)れる」 →2点

- ② (都道府県名と立地の特徴)

「埼玉県/愛知県/千葉県/大阪府/兵庫県/福岡県」で

「三大都市圏やその近郊/大市場の近く/人口が多い地域の近く」 →2点

問(2)② 3点

国民の活字離れに加え、インターネットの発達やスマートフォンなどの普及により、印刷業の主な製品である単行本や雑誌などの需要が低下しているから。

【加点ポイント】★「問(2)①：ウ」の正解を加点の前提とする

- ① (出荷額低下の理由) 本や雑誌の需要低下/出版物が売れなくなった →1点
- ② (①の背景) 国民の活字離れ/読書離れ →1点
- ③ (①の背景) インターネットの発達/パソコンの普及/スマホやタブレットの普及  
/出版物のデジタル化の進行 →1点

問(3)② 3点

製品が軽量・小型のわりに高付加価値のため、比較的安価な労働力が得られ、輸送に便利な地方の空港や高速道路のインターチェンジ付近に立地している。

【加点ポイント】★「問(3)①：カ」の正解を加点の前提とする

- ① (製品の特徴) 「軽量/小型/短小軽薄」で「高付加価値/価格が高い」 →1点
- ② (立地の特徴) 地方の空港付近/高速道路の近く →1点
- ③ (②の背景) 輸送に便利/高速輸送が可能/製品に占める輸送費の割合が低い →1点

問(4)② 3点

部品の多い組立工業であり、関連工場が集積した創業地に立地してきたが、アジア市場に近く労働力や用地コストなどが安い福岡県への分散が進んだ。

【加点ポイント】★「問(4)①:ク」の正解を加点の前提とする

- ① (以前の立地) 創業地に立地/関連工場が集積する/部品工場が多く移転しづらい →1点
- ② (福岡県の利点) アジア市場に近い/中国や東南アジアへの輸出に便利 →1点
- ③ (福岡県の利点) 安価な労働力/地価が安い/広い用地が確保できる →1点

V

問(3) 2点

航行距離が短縮でき、海賊被害の危険性も少ない。

【加点ポイント】

- ① 航行距離が短い/航行日数を短縮できる →1点
- ② 海賊被害を避けられる/マラッカ海峡など海賊が多いところを回避できる →1点

問(4)① 3点

西部大開発。開発の遅れた内陸地域を発展させ、沿岸部との格差を是正するため。

【加点ポイント】

- ① (国家計画) 西部大開発 →1点
- ② (目的) 内陸地域(西部)の開発/内陸地域(西部)を発展させる →1点
- ③ (目的) 沿岸部と内陸部の格差是正/内陸部の交通基盤整備/資源開発  
/内陸部の産業育成/内陸部の環境保全 →1点

問(4)② 3点

冬季に凍結して膨張する季節凍土のため、地表に敷設した線路では破損の恐れがあるから。

【加点ポイント】(※問(4)①の可否は問わない)

- ① (自然条件) 季節凍土である/冬季に地面が凍結して盛り上がる  
/凍上現象が起こる →2点
- ② (高架により) 冬季の線路の破損(歪み)を防ぐ →1点

問(5) 4点

低緯度の高地に位置し、栽培に適した気候条件に一年中恵まれ、先進国市場への空輸拠点となるハブ空港がドバイに発達したため。

【加点ポイント】

- ① (ケニアの気候条件) バラ栽培に適した気候に一年中恵まれる/常春気候 →1点
- ② (①の要因) 低緯度の高地/低地は熱帯地方だが標高が高い/気温の遞減による →1点
- ③ (輸送条件) ハブ空港の発達 →1点
- ④ (③の具体例) ドバイ →1点